

第1回 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会（部会合同開催） 資料

資料1：浅草地区の状況

2022年9月28日
台東区都市づくり部

1-1. 背景・目的

■浅草地区まちづくりビジョン策定の背景・目的

- 浅草地区は、豊かな歴史・文化を有する日本を代表する国際的な観光拠点である。平成19年6月には、「浅草地域まちづくり総合ビジョン（以下、現ビジョン）」を策定し、各種プロジェクトを推進してきた。
- 現ビジョン策定後、東京スカイツリー開業や外国人を含む観光客の増加、さらにはコロナ禍によって、本地区を取り巻く社会経済状況は、大きく変化している。
- このような状況を踏まえ、今後のまちづくりの方向性を示す「浅草地区まちづくりビジョン（以下、新ビジョン）」を策定し、浅草の多彩な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていく。



浅草地域まちづくり総合ビジョン



平成 19 年 6 月
台 東 区

1-2. 新ビジョンの検討範囲・目標年次

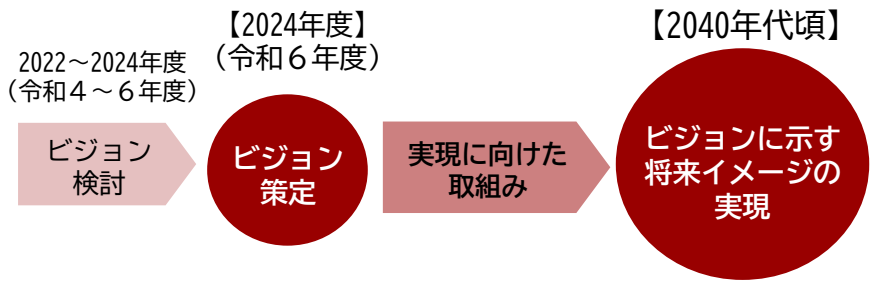
資料1：浅草地区の状況

■新ビジョンの検討範囲

- 新ビジョンの検討範囲は、右図のとおりである。
(現ビジョンと同様)

■目標年次

- 新ビジョンは、「台東区都市計画マスタープラン」や「都市づくりのグランドデザイン（東京都）」における計画期間を鑑み、現在より概ね20年後の**2040年代頃**の将来イメージを目標とする。



検討範囲

1-3. 新ビジョンの位置づけ

■新ビジョンの位置づけ

- 新ビジョンの位置づけを以下のとおり図示する

【東京都の計画】

- 都市づくりのグランドデザイン
- 東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
- PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン 等

【台東区の計画】

- 台東区都市計画マスタープラン
- 台東区の観光復活に向けた方針
- 台東区産業振興推進方針 等

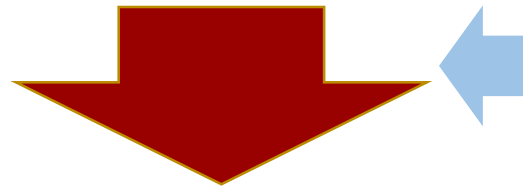
【コロナを踏まえたまちづくりの動向】

- 新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性（国土交通省）
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした今後の都市再生のあり方（内閣府）等

現ビジョン



新ビジョン



1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

- 浅草地区の状況について、以下の観点から整理する。

- **人口・世帯数**

- **建物・土地利用現況、建物階数、地区類型**

- **観光**

- ・ 旅行者数（観光客数）や消費額の変化 など

- **産業**

- ・ 産業別従業者数や消費行動の変化 など

- **防災**

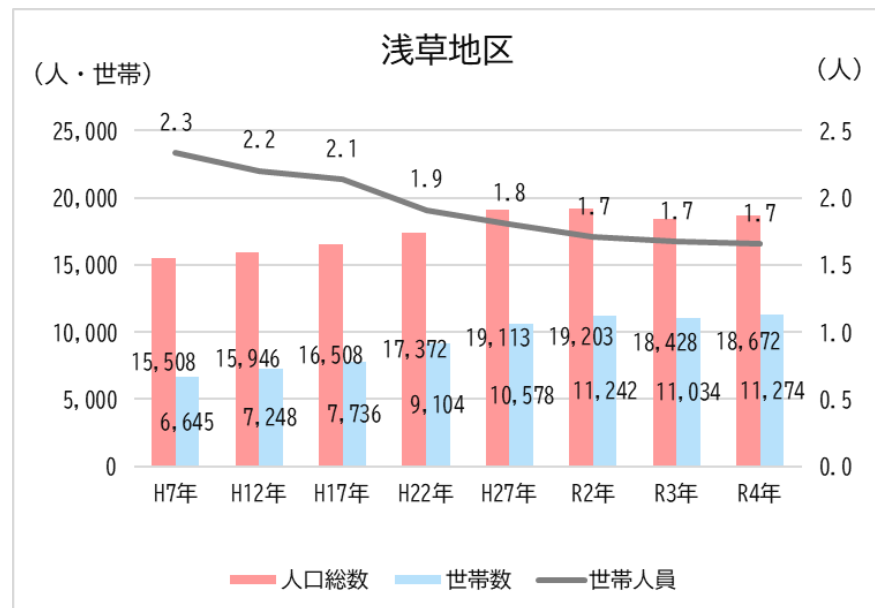
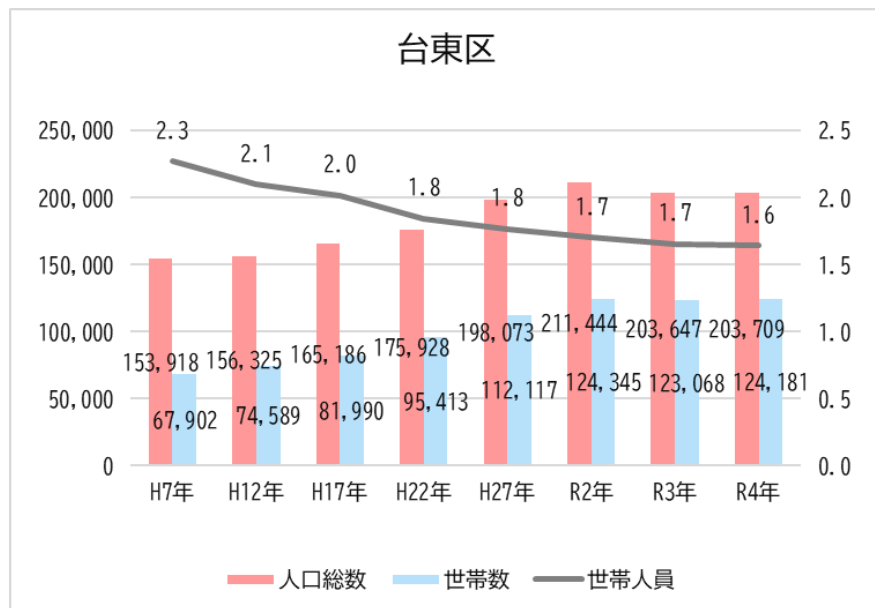
- ・ 激甚化する自然災害への対応、首都直下地震への備え など

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■浅草地区の人口の推移(H7～R4)

- 台東区全域、浅草地区ともに人口総数及び世帯数は増加傾向にある。



人口増減率	人口増減率				
	H12/H7	H17/H12	H22/H17	H27/H22	R2/H27
浅草地区	2.8%	3.5%	5.2%	10.0%	0.5%
台東区	1.6%	5.7%	6.5%	12.6%	6.8%

出典：国勢調査（H7～R2）、台東区住民基本台帳（R3,4）

（浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用）

※令和3,4年は住民基本台帳の数値を使用しているため、令和2年度までの推移と傾向が不連続になる部分がある

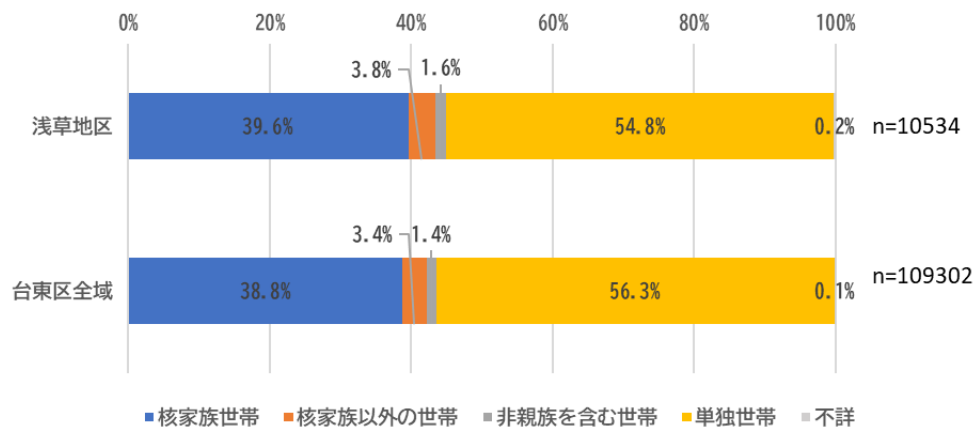
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■浅草地区の世帯構成・世帯比率

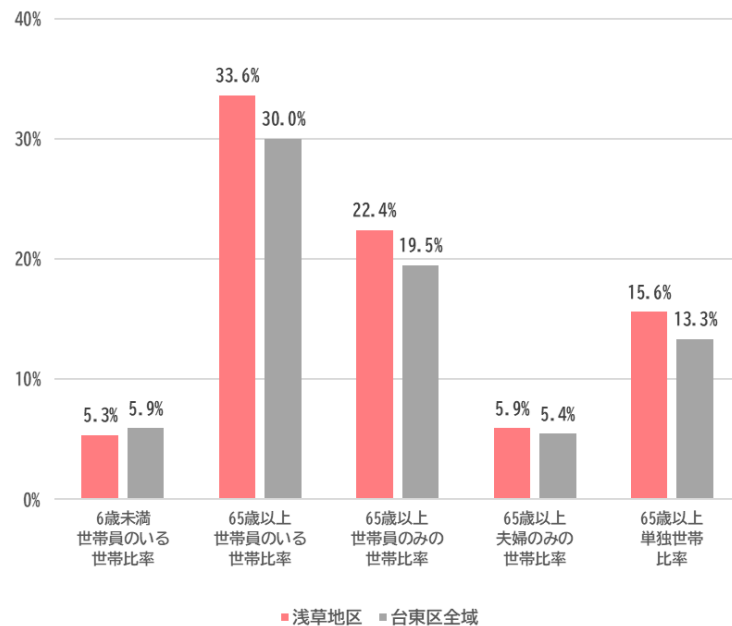
- 単独世帯が半数以上を占めている。
- 65歳以上のみの世帯が20%強、65歳以上の単独世帯が15%強を占めている。

世帯類型別構成(H27)



子育て世帯・高齢者世帯比率(H27)

※世帯総数に対する比率



出典：国勢調査（浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用）

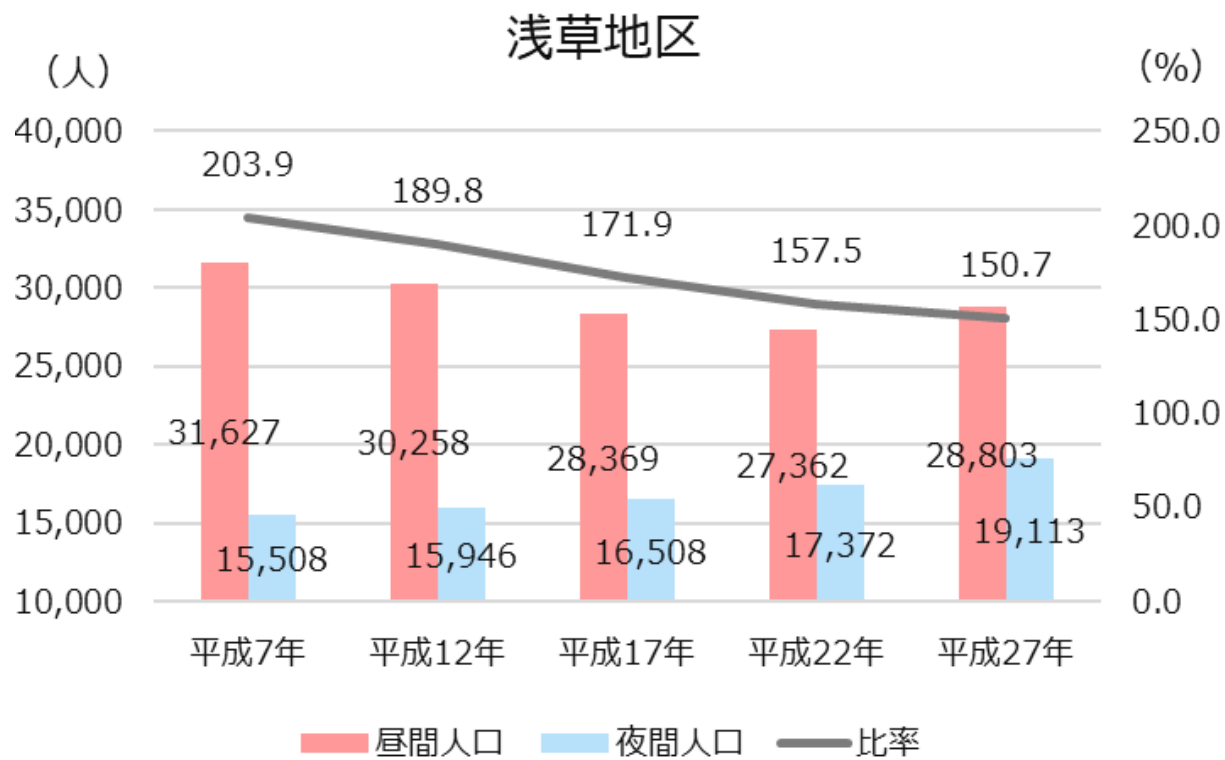
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■浅草地区の昼間人口

- 昼間人口は減少傾向であり、夜間人口は増加傾向となっており、総じて昼夜間人口比率は減少している。

昼間人口・夜間人口(H7~H27)



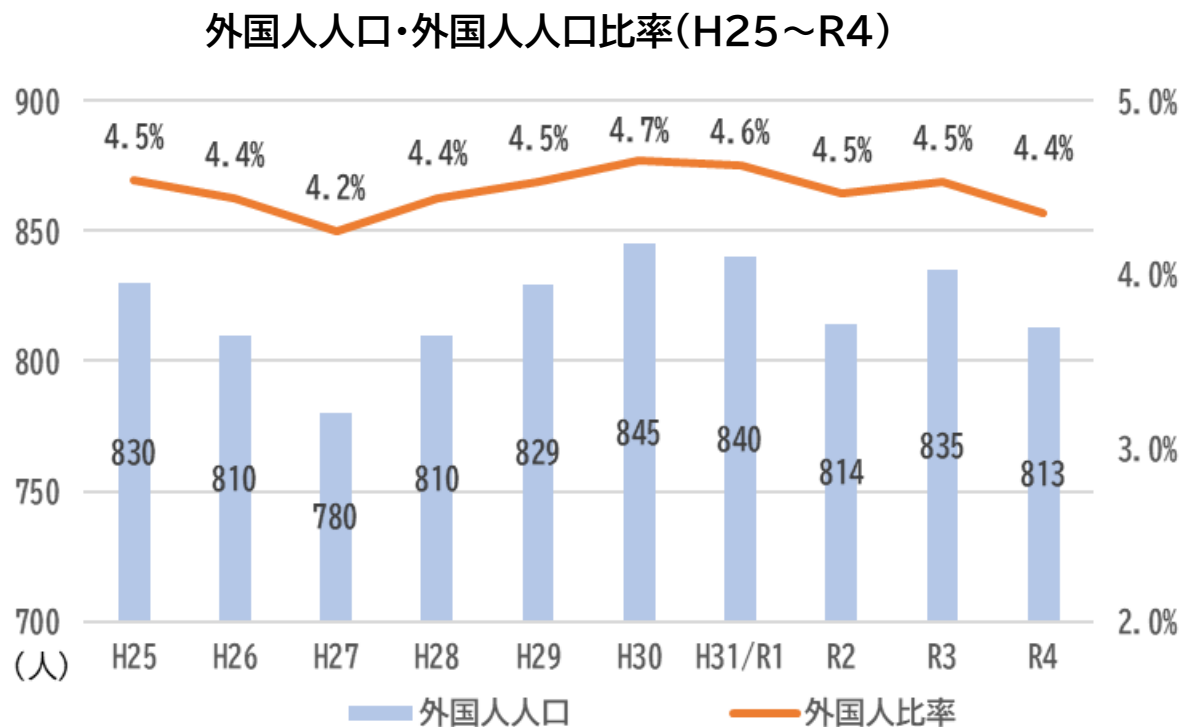
出典：国勢調査（浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用）

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■浅草地区の外国人人口

- 外国人人口・外国人人口比率は、地域内の人口総数のおおむね4～5%程度で横ばいで推移している。



※外国人比率は、地域別人口総数に対する比率

出典：台東区住民基本台帳（浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用）

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■浅草地区の建物利用現況・土地利用現況

- 浅草寺を始めとする大規模な教育文化施設が点在しており、東側は隅田川や隅田公園の用地が広がっている。
- 浅草寺の南側や西側を中心に、商業系用地が多くみられる。

建物利用現況(H28)



土地利用現況(H28)



出典：東京都土地利用現況調査

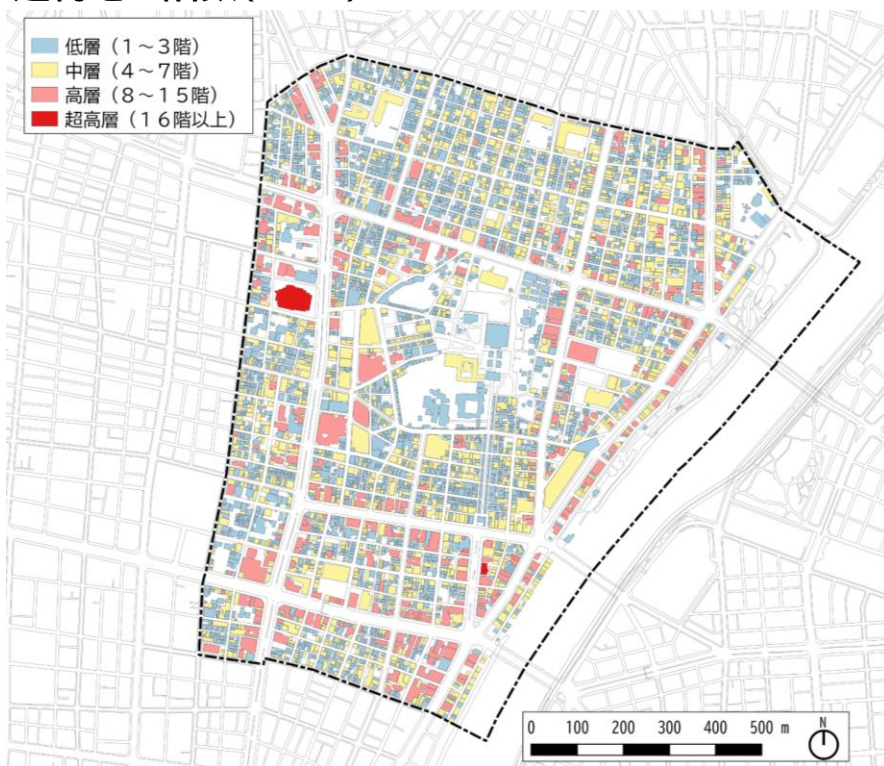
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■浅草地区の建物階数、地区類型

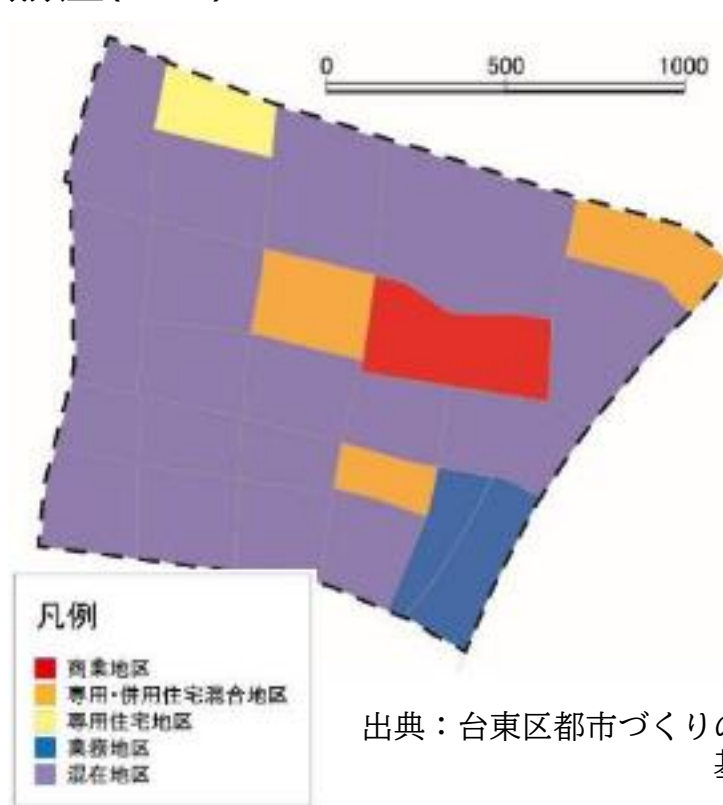
- 幹線道路沿いに8階建て以上が多く立地している。
- 浅草寺付近は商業地区となっているが、地区内のほとんどは混在地区となっている。

建物地上階数(H28)



出典：東京都土地利用現況調査

地域類型(H23)



出典：台東区都市づくりのための基礎資料

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■観光(浅草地区の観光客の来訪状況)

- 延べ観光客数は増加傾向にあったが、飲食・買物・入場料等のいずれの1人当たり平均消費額は、減少傾向だった。
- 平均滞在時間は、上野地区や浅草橋地区は増加傾向にあるのに対して、浅草地区は減少傾向だった。



仲見世



六区ブロードウェイ

延べ観光客数(H26~28/単位:万人)

	平成28年	平成26年	差
浅草地区	3,230	3,050	180
上野地区	2,726	2,592	134
谷中地区	291	223	68
浅草橋地区	154	150	4

浅草地区の1人当たりの平均消費額(H26~28/単位:円/人)

	平成28年	平成26年	差
飲食	1,521	1,732	-211
買物	1,351	1,667	-316
入場料等	86	354	-268
その他	9	105	-96
計	2,967	3,858	-891

平均滞在時間(H26~28)

	平成28年	平成26年	差
浅草地区	2時間10分	3時間00分	-50分
上野地区	4時間00分	3時間30分	+30分
谷中地区	2時間00分	2時間30分	-30分
浅草橋地区	2時間00分	1時間22分	+38分

出典：台東区観光統計・マーケティング調査

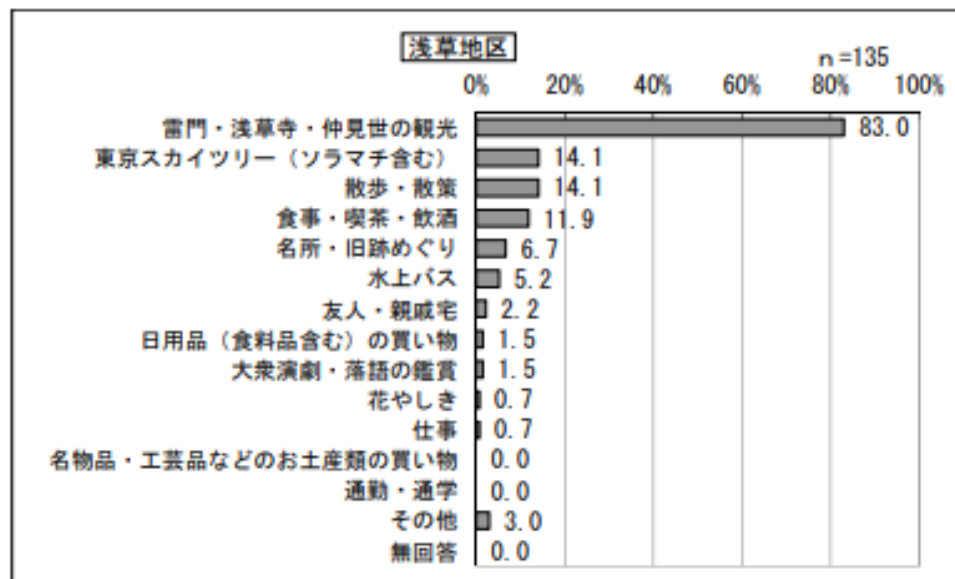
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

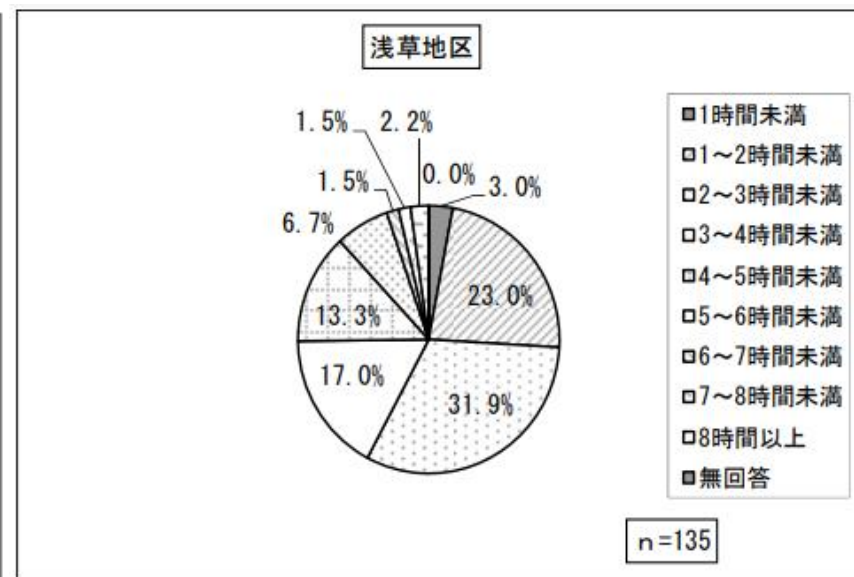
■観光(浅草地区の観光客の来訪状況)

- 雷門・浅草寺・仲見世の観光を目的とする割合が特に高い。
- 1～2時間未満と2～3時間未満をあわせて5割以上となっている。

浅草地区の来訪目的(H28)



浅草地区の滞在時間(H28)



出典：台東区観光統計・マーケティング調査

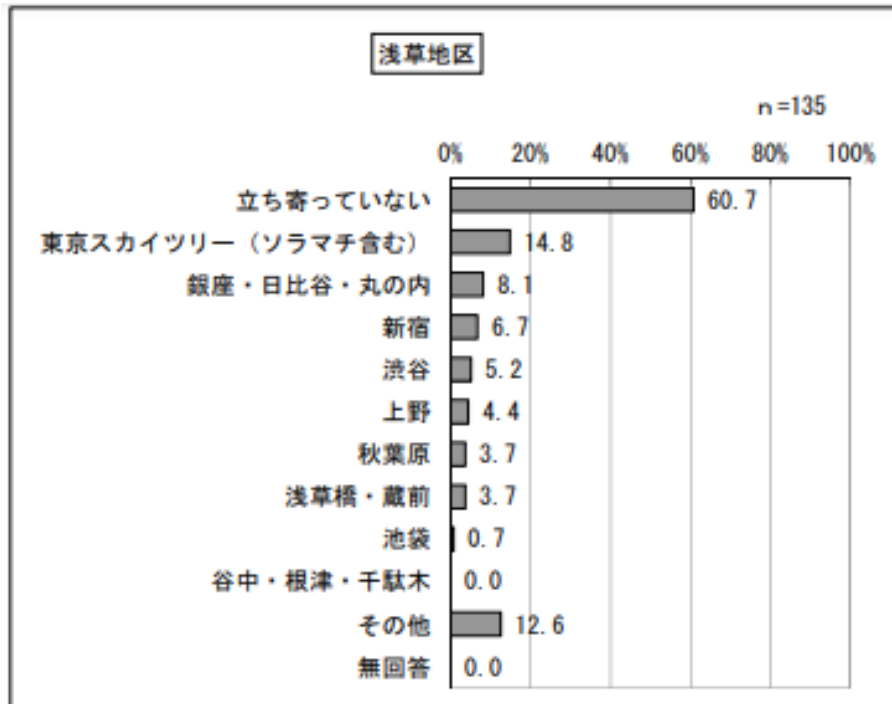
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

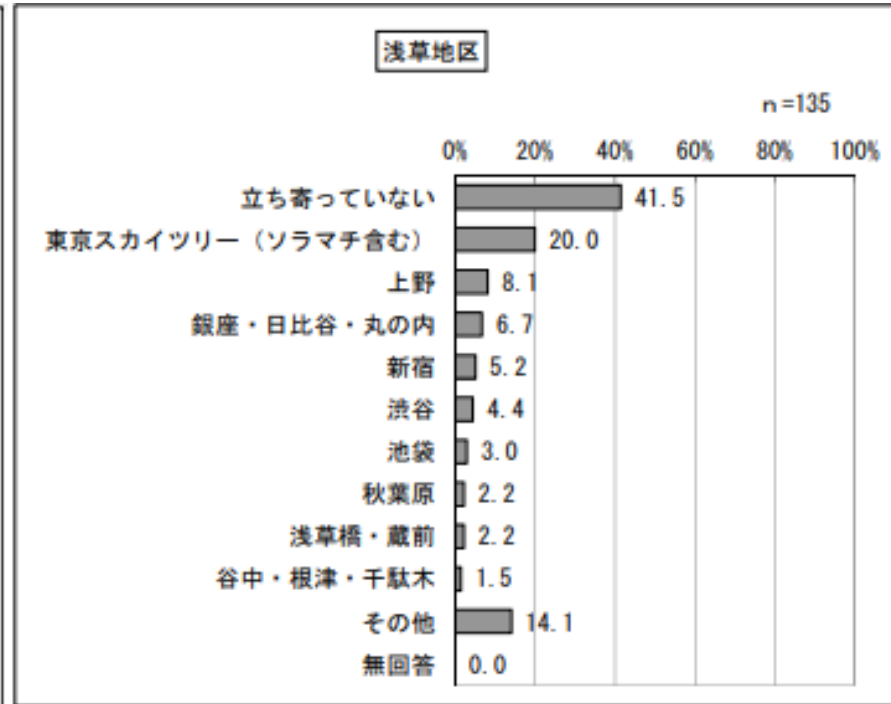
■観光(浅草地区の観光客の来訪状況)

- 浅草地区の来訪前後は「立ち寄っていない」が多くを占めている。立ち寄りがある中では、「東京スカイツリー（ソラマチ含む）」が最も多くなっている。

来訪前の立ち寄り箇所(H28)



来訪後の立ち寄り箇所(H28)



出典：台東区観光統計・マーケティング調査

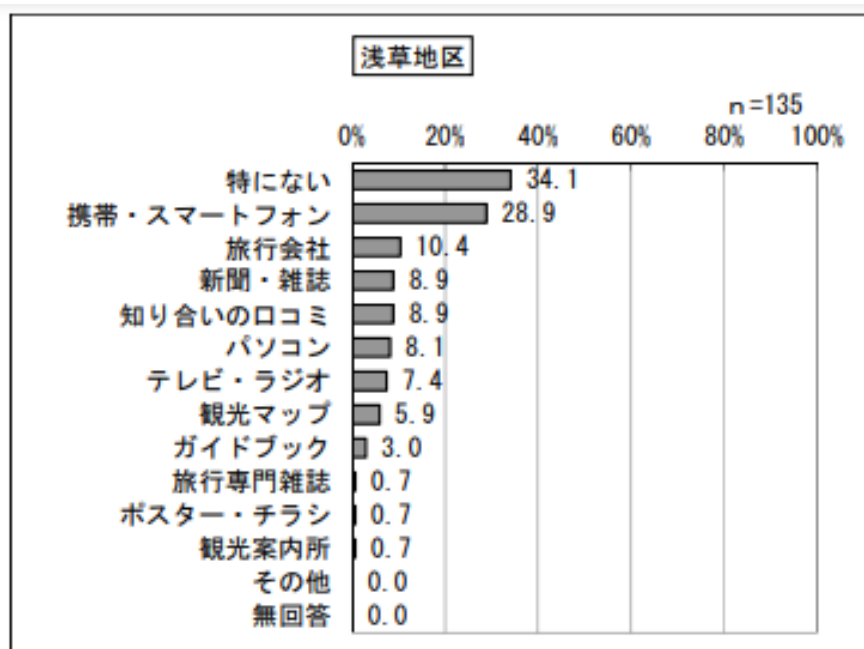
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

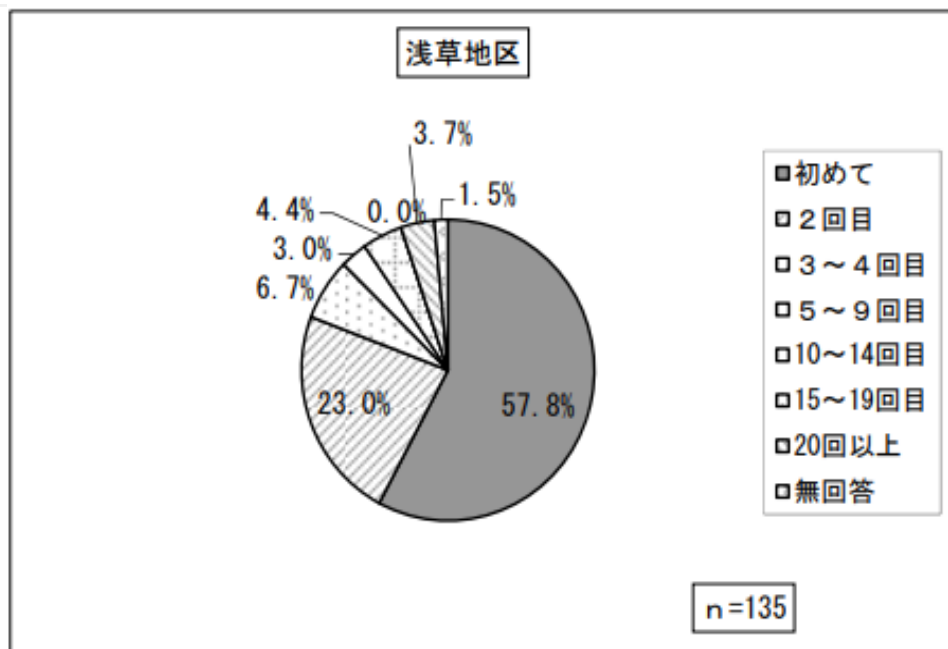
■観光(浅草地区の観光客の来訪状況)

- 事前に情報収集している場合は、携帯・スマートフォンでの入手が最も多い。
- 来訪回数は、初めてが6割近くとなっている。

情報入手先(H28)



来訪回数(H28)



出典：台東区観光統計・マーケティング調査

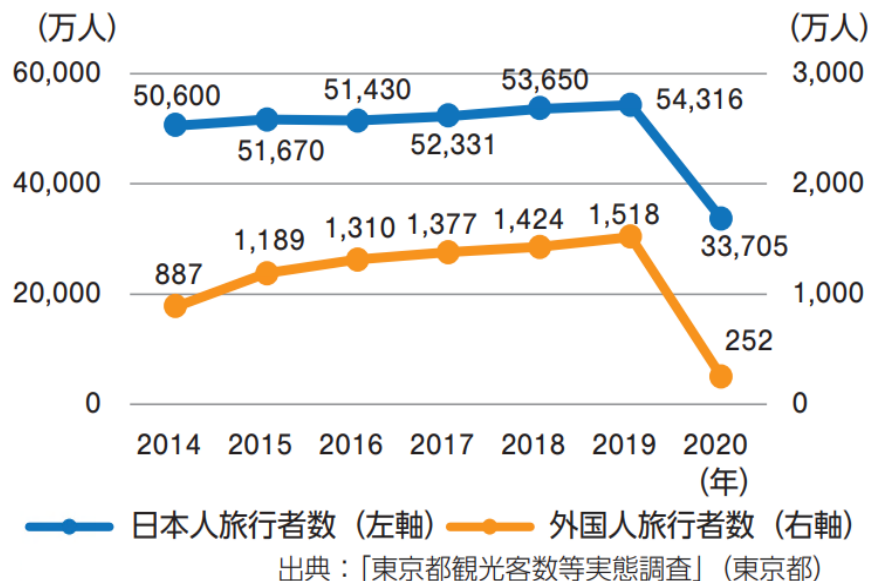
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

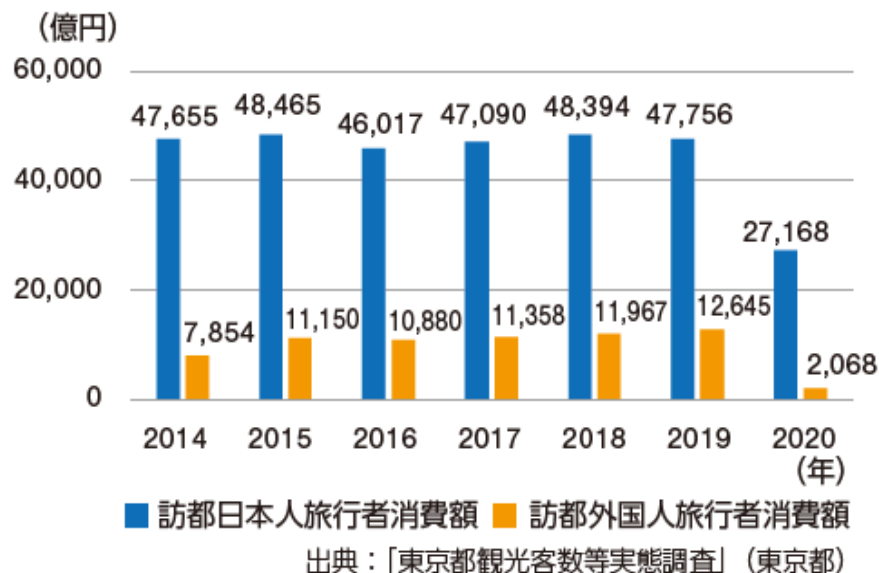
■観光(訪都旅行者数・消費額について)

- 旅行者数は、2019年まで増加傾向であったが、2020年に大きく減少している。
- 旅行者消費額は、2019年まで外国人は増加傾向、日本人は横ばい傾向であったが、2020年に大きく減少している。

訪都外国人・日本人旅行者数の推移



訪都外国人・日本人旅行者消費額の推移



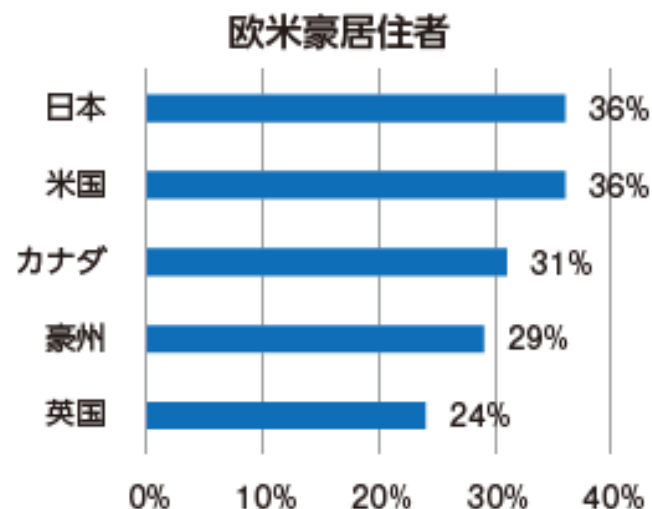
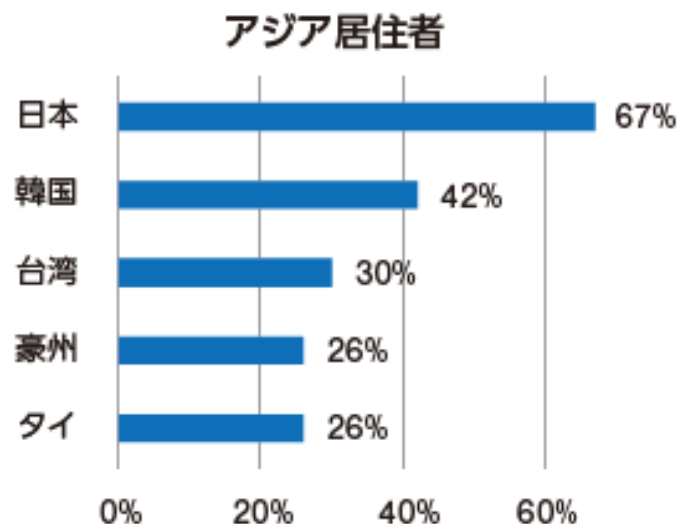
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■観光(コロナ収束後の旅行先)

- 新型コロナ収束後に旅行したい国・地域として、日本を選択する割合が高く、日本への期待は高まっている。

コロナ収束後に旅行したい国・地域



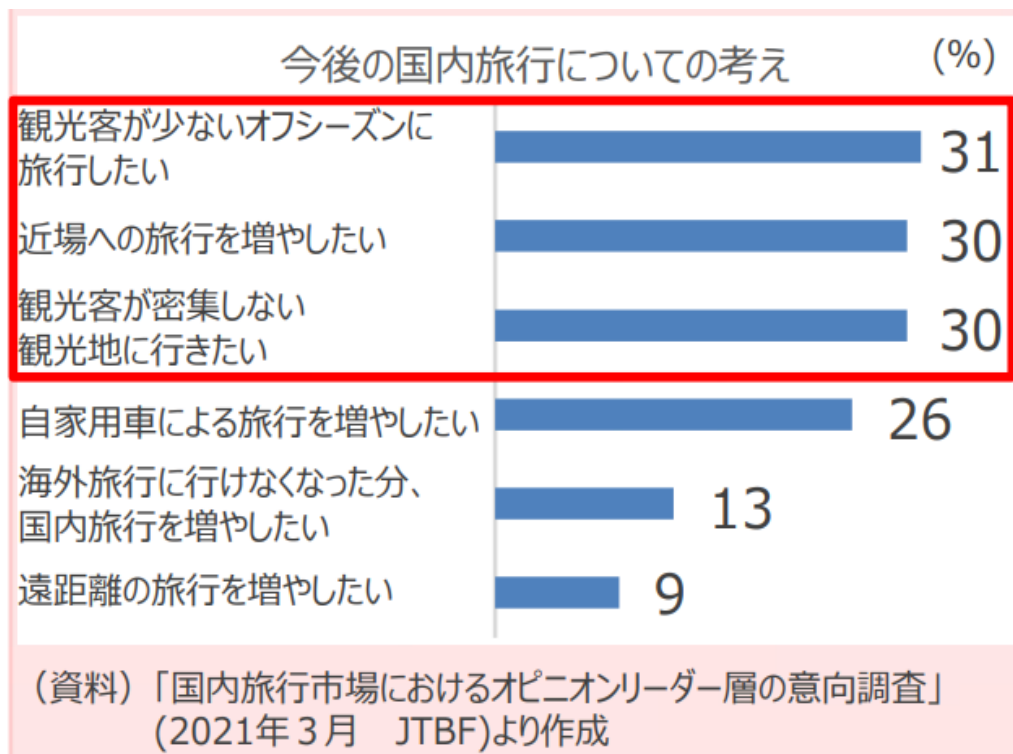
出典：(株)日本政策投資銀行・(公財)日本交通公社(2021年5月)

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■観光(コロナを契機とした志向の変化)

- 新型コロナを契機として、三密回避につながる旅行への志向が高まっている。
- 旅行者意識の変化を踏まえ、オフシーズンの取組み推進や近場の観光の促進等、新たな観光スタイルを浸透させつつ、あらゆる場面において三密を回避し、旅行者・事業者双方の感染リスクを軽減する必要性が高まっている。



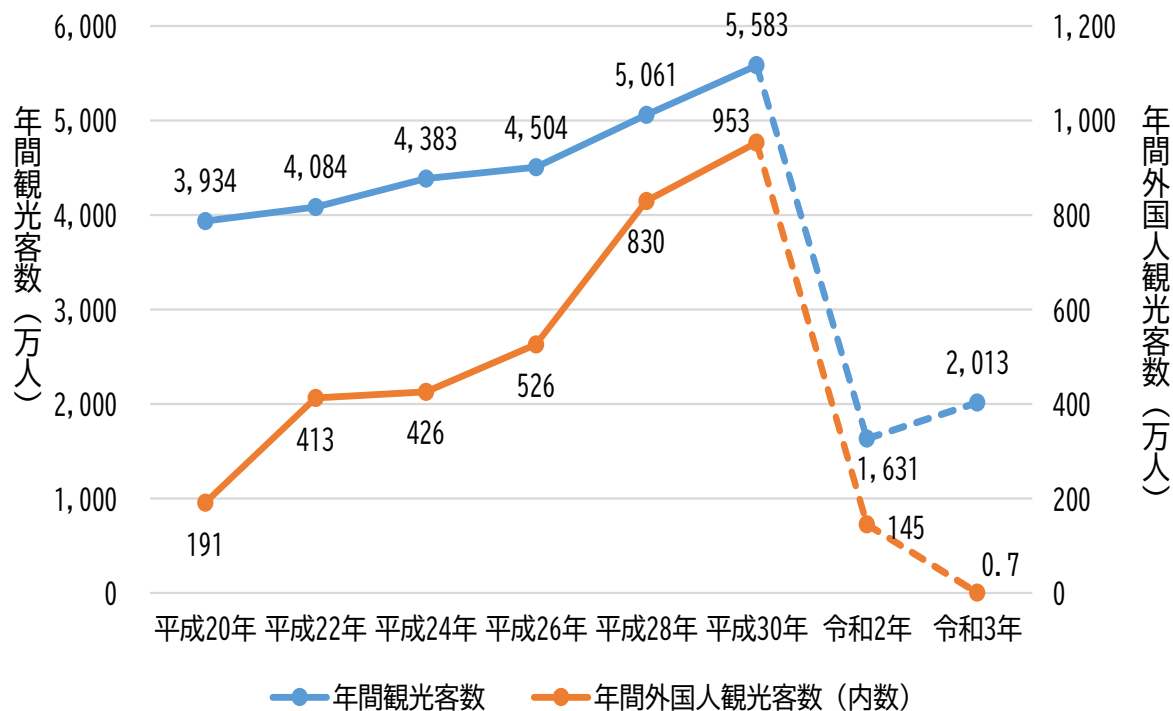
出典：PRIME 観光都市・東京

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■観光(台東区の年間観光客数の推移)

- 年間観光客数・年間外国人観光客数は、平成30年まで増加傾向だったが、コロナ禍で大きく落ち込んでいる。



出典：台東区観光統計・マーケティング調査

コロナ禍初期と比べて
徐々に活気が戻りつつある



令和2年4月撮影



令和4年9月撮影

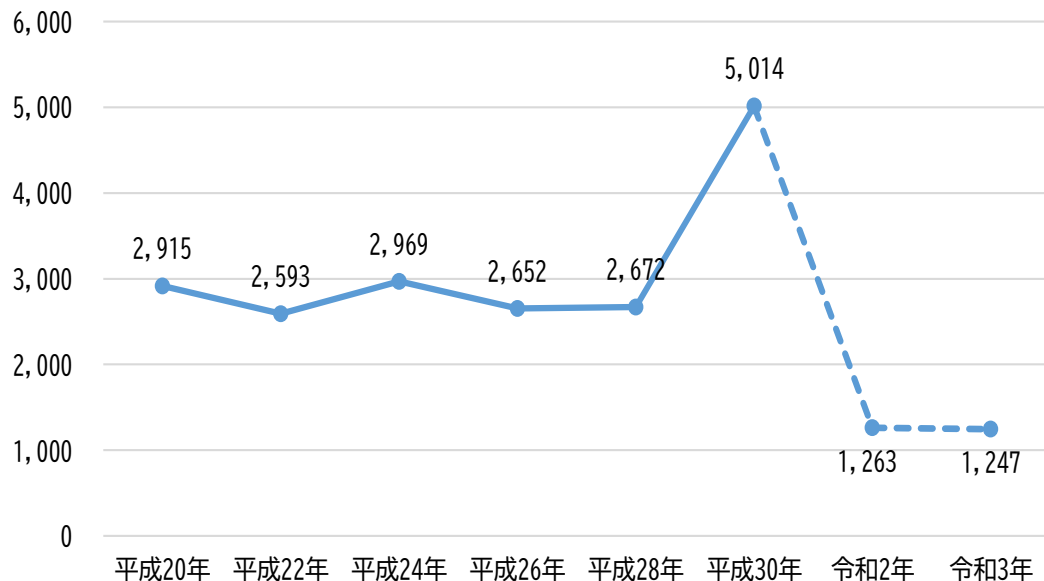
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■観光(台東区の観光消費額の推移)

- 平成30年に上昇が見られたが、その前後は減少傾向となっている。
- 浴衣を着た観光等、地区ならではの体験ができ、来訪者の消費につながる観光の取組みの重要性が高まっている。

年間観光消費額（億円）



出典：台東区観光統計・マーケティング調査

浴衣を着た若年層の観光客が目立つ



令和4年9月撮影

外国人の入国制限が徐々に緩和
外国人観光客が徐々に回復



令和4年9月撮影

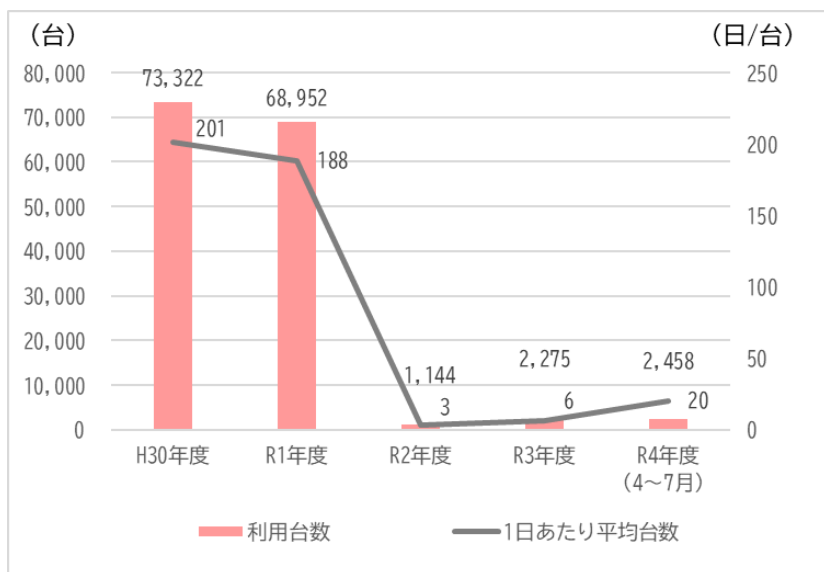
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■観光(観光バス利用台数)

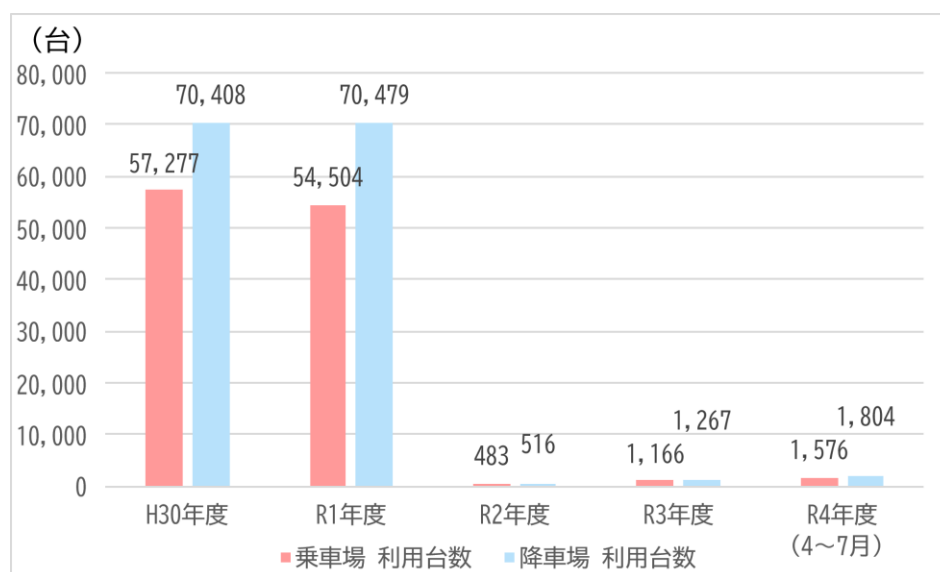
- 駐車場、乗降場ともにコロナ禍により利用台数が大きく落ち込んでいるが、令和3年度以降は微増の傾向がみられる。

公共観光バス駐車場の利用実績(H30～R4)



台東区民会館駐車場、今戸駐車場(R3.3.1から休止中)、清川駐車場(R2.9.1からR3.2.28まで休止)の合計値

観光バス乗降場の利用実績(H30～R4)



乗車場：二天門乗車場、東武浅草駅乗車場の合計値
降車場：雷門通り降車場、国際通り降車場(R3年度集計なし)、言問通り乗車場の合計値

出典：台東区駐車場利用実績

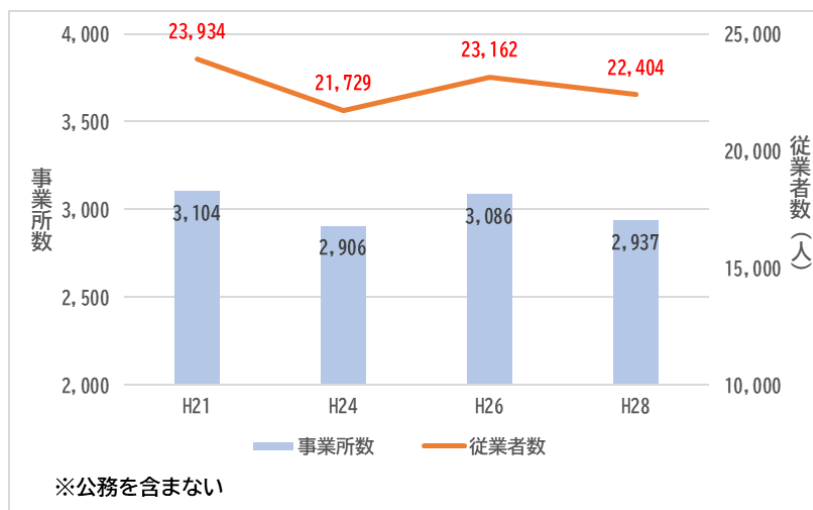
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

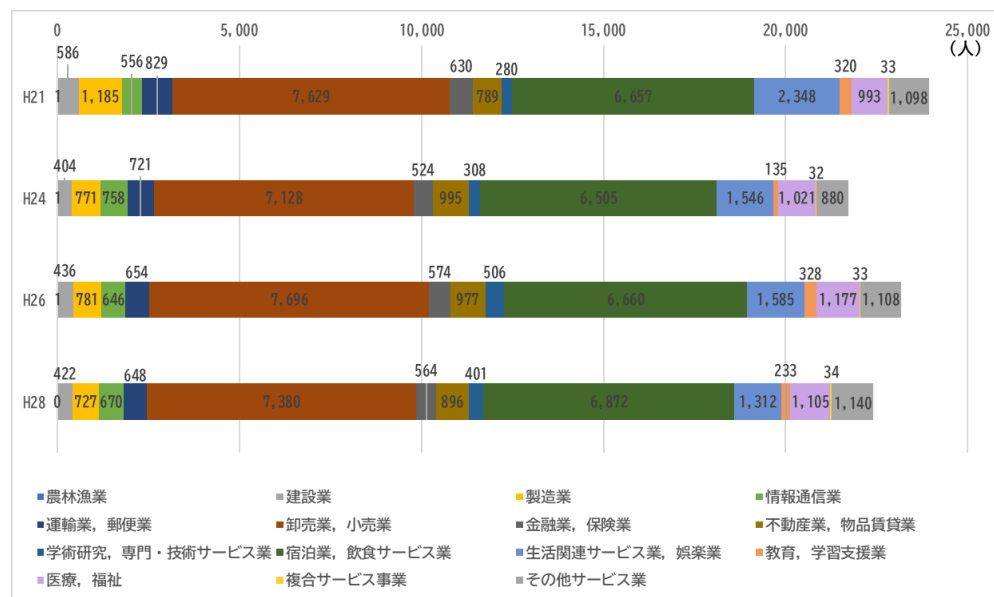
■浅草地区の事業所数、従業者数

- 事業所数は3,000件程度、従業者数は20,000人程度で推移している。
- 従業者は、卸売業・小売業と宿泊業・飲食サービス業が多くを占めている。

事業所数及び従業者数(H21～H28)



産業別従業者数(H21～H28)



出典：経済センサス（浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用）

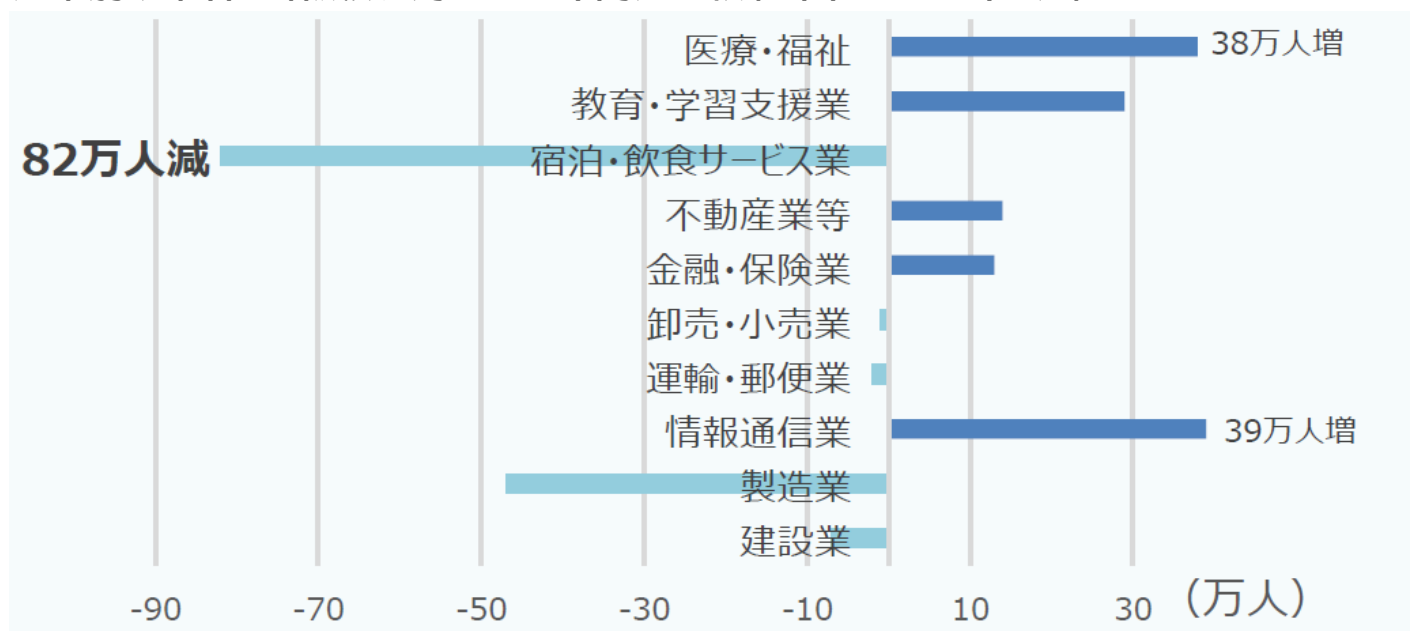
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■産業(産業別就業者の推移)

- コロナ禍を経て、2021年9月時点の宿泊業・飲食サービス業の就業者数は369万人で、2019年9月時点と比べると全国で82万人減少している。また、卸売・小売業も減少傾向にある。
- 情報通信業の就業者数は、大きく増加している。

産業別就業者の増減数 対2019年同月比較(全国、2021年9月)



出典：「未来の東京」戦略version up 2022

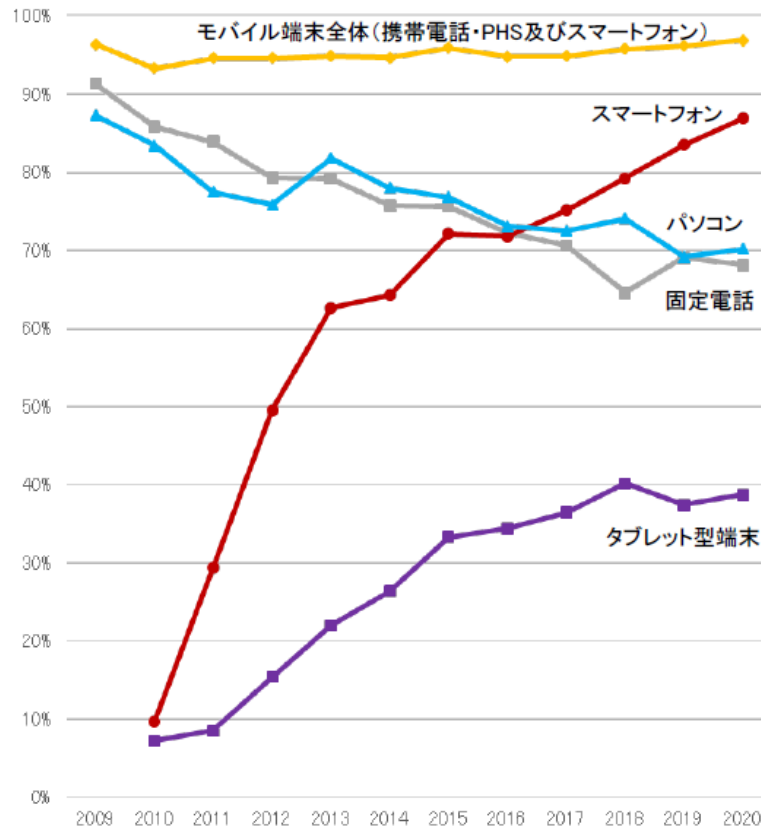
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■産業(消費行動の変化)

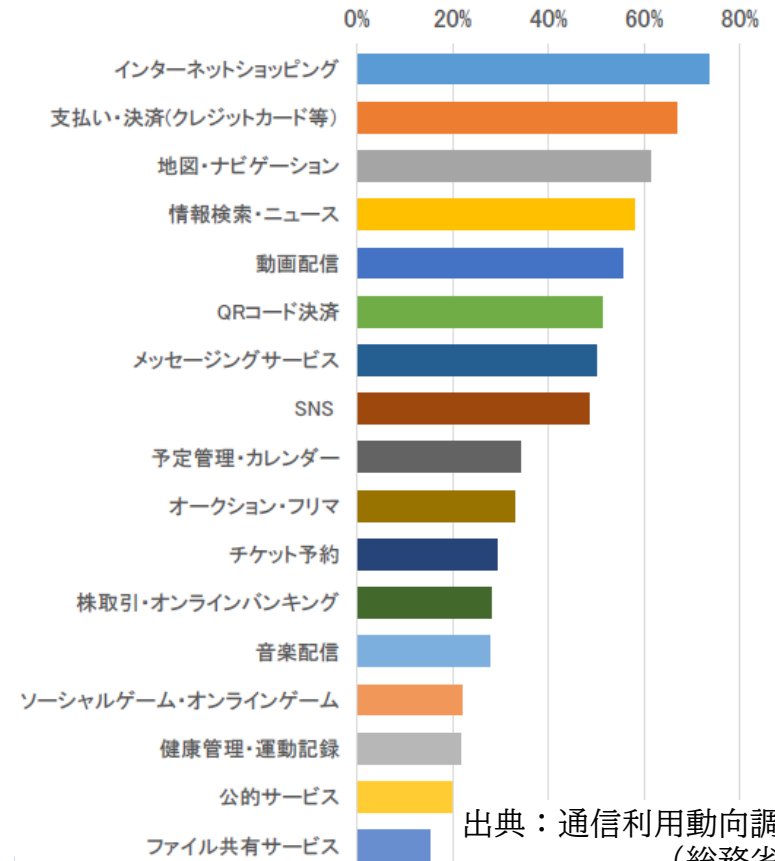
- 消費行動に関しては、スマートフォンの急速な普及に伴い、ショッピング、動画配信等の生活・エンターテインメントにおいてデジタル化が進んでいる。

情報通信機器の世帯保有率



出典：通信利用動向調査（総務省）

普段利用しているインターネットサービス



出典：通信利用動向調査（総務省）

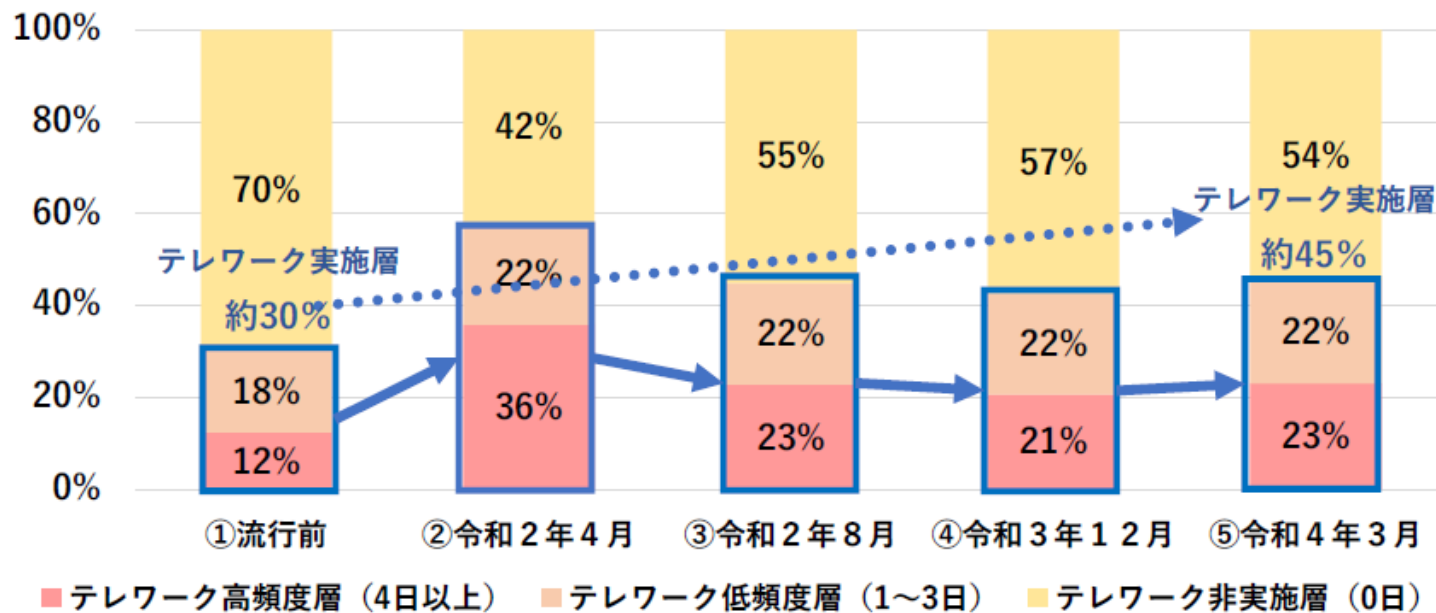
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■産業(働き方の変化)

- 働き方に関しては、コロナ禍の緊急事態宣言をきっかけにテレワークの割合が増え、その後も安定的に一定数のテレワーク実施層がいる状況となっている。

就業者におけるテレワーク実施者の割合の推移



出典：新型コロナウイルス感染症の影響下における生活行動調査 (第二弾) (国土交通省)

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■産業(区内の中小企業の現状:令和3年ヒアリング結果より)

- コロナ禍の売上減少の影響がある一方で、新販路開拓や新製品等の開発への関心が高まっている。

コロナの影響による売上の変化

項目	製造	卸売	小売	サービス	飲食	宿泊	伝統工芸	その他	計
大幅に減少(50%以上)	14	9	27	12	23	24	5	6	120
減少(50%未満)	33	24	29	14	7	1	12	10	130
変わらない	10	2	5	5	0	0	0	1	23
増加(50%未満)	7	2	1	3	0	0	0	0	13
大幅に増加(50%以上)	1	2	1	0	1	0	0	0	5
無回答	1	4	2	2	2	0	0	3	14
計	66	43	65	36	33	25	17	20	305

「大幅に減少」及び「減少」が約82%と大きな影響を受けている

今後取り組みたいこと

項目	製造	卸売	小売	サービス	飲食	宿泊	伝統工芸	その他	計
SDGs	15	10	9	6	2	6	2	4	54
DX	12	11	20	11	12	12	6	7	91
他事業者等と交流	7	5	9	13	2	3	5	2	46
働き方改革等	21	6	9	7	7	6	2	5	63
事業承継	10	3	11	5	8	4	6	3	50
事業転換等	15	12	14	11	6	5	2	5	70
新製品等の開発	32	21	23	12	17	5	8	6	124
新販路開拓	37	29	29	13	5	11	7	6	137
その他	2	0	2	0	4	2	0	1	11
計	151	97	126	78	63	54	38	39	646

新販路開拓 137件(21.1%)
 新製品等の開発 124件(19.2%)
 DX 91件(14.1%)
 とコロナを契機とした新たな取り組みを検討

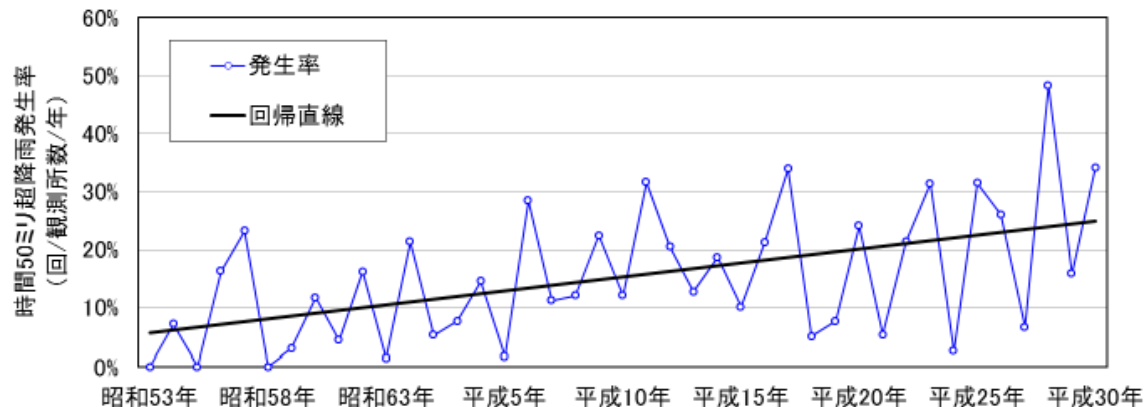
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■防災(豪雨の発生率の推移、地震)

- 昭和50年代には1時間50ミリを超える豪雨が観測されなかった年もあるが、近年では集中豪雨の頻発や台風の大型化などにより豪雨が増加傾向にある。

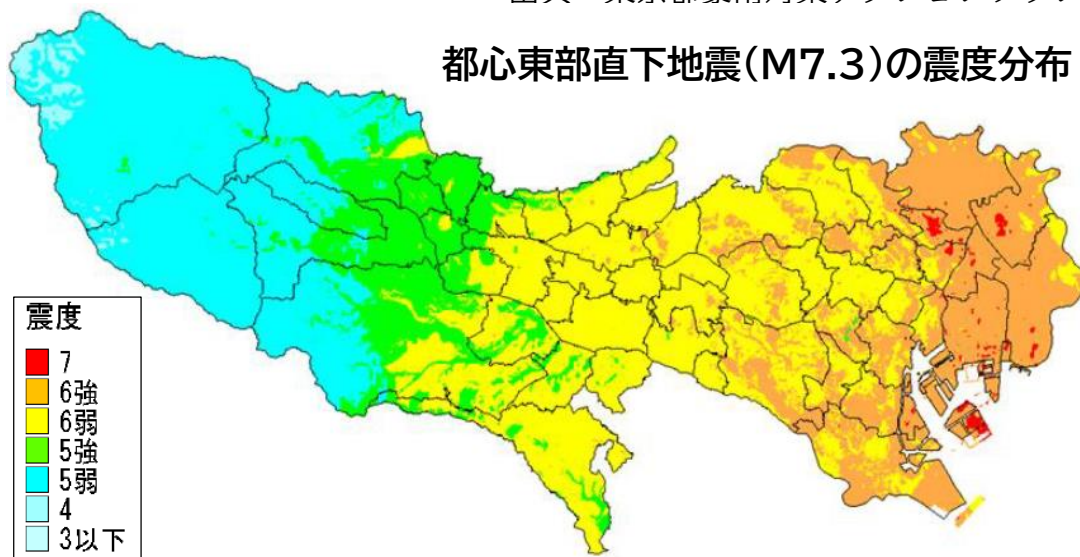
都内首都直下地震)の時間50ミリ超豪雨の発生率推移



出典：東京都豪雨対策アクションプラン

- 都心東部直下地震において、台東区東部において震度6強のエリアが広がっている。

都心東部直下地震(M7.3)の震度分布



出典：首都直下地震等による東京の被害想定報告書

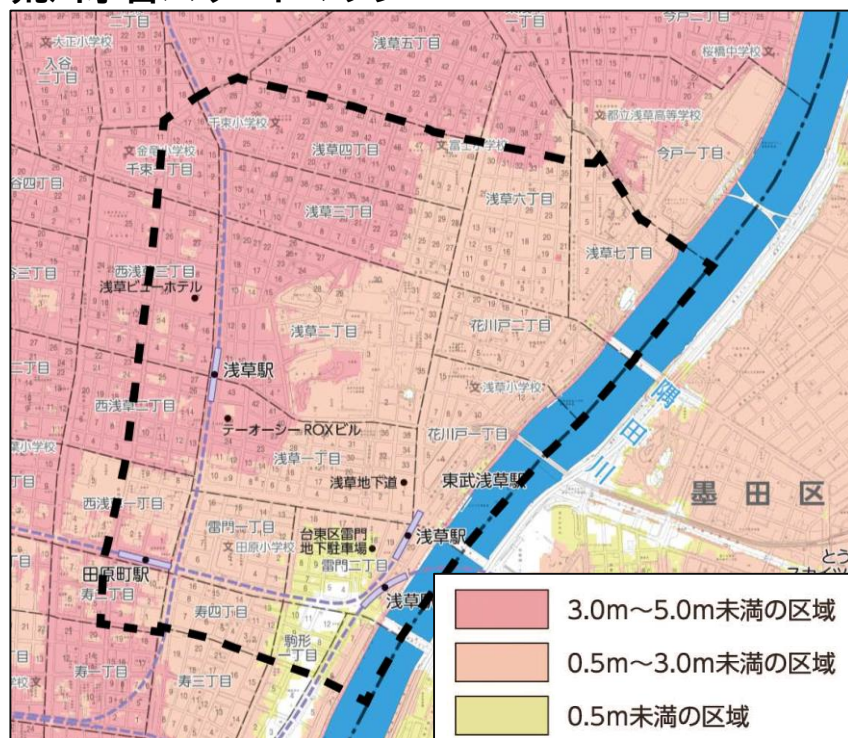
1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

■防災(浅草地区の水害ハザードマップ、帰宅困難者対策)

- 東側では0.5～3.0m、西側では3.0～5.0mの浸水が予想されている。
- 帰宅困難者用支援候補施設として、浅草文化観光センター、台東区民会館、浅草公会堂、雷門地下駐車場、台東都税事務所が挙げられるが、観光客等の不特定多数の帰宅困難者の受け入れとしてさらなる充実が求められている。

荒川水害ハザードマップ



出典：台東区荒川水害ハザードマップより作成

帰宅困難者用支援施設位置図



出典：台東区帰宅困難者用支援マップより作成

1-4. 浅草地区を取り巻く状況

資料1：浅草地区の状況

	2000年代	2010年代	2020年代	2030年代	2040年代
社会全体の動向	<ul style="list-style-type: none"> ●2008 国内総人口がピーク ●2008 リーマンショックの発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●2011 東日本大震災の発生 ●2016 熊本地震発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●2020～ 新型コロナウイルスの流行 ●2020 5Gサービス開始 ●2020 カーボンニュートラル宣言 ●2021 東京オリンピック ●2021 東京オリピック ●2022 首都直下地震等による被害想定見直し公表 今後30年以内に首都直下地震が発生する確率は70%（区部の約6割が震度6強） 	<ul style="list-style-type: none"> ●2025 東京都の人口がピーク ●2025 大阪万博 ●2027 リニア中央新幹線開業（品川～名古屋） ●2023 関東大震災から100年 	<ul style="list-style-type: none"> ●2036 国民の3人に1人が65歳以上 ●2037 リニア中央新幹線全線開業
計画等	<ul style="list-style-type: none"> ●2007 浅草現ビジョン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●2017 都都市づくりグランドデザイン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●2019 区都市計画マスタープラン策定 ●2020 上野地区ビジョン策定 ●2021 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の改定 ●2024 新ビジョン策定（予定） 		
周辺の動向		<ul style="list-style-type: none"> ●2012 東京スカイツリー開業 	<ul style="list-style-type: none"> ●2020 すみだリバーウォーク開通 ●2020 東京ミスマチ開業 ●2020 両国リバーセンター開業 ●2020 WATERS takeshiba開業 ●2022 築地地区まちづくり事業実施方針公表 		
地区の動向	【交通関連】	<ul style="list-style-type: none"> ●2010 水上バス乗り場建替え ●2011 二天門防災船着場利用開始 		<ul style="list-style-type: none"> ●2027 銀座線（浅草～上野）開業100周年 	<ul style="list-style-type: none"> ●2031 東武浅草駅開業100周年（当時：浅草雷門駅）
	【まち関連】	<ul style="list-style-type: none"> ●2000 雷門地下駐車場整備 ●2001 めぐりんが運行開始 ●2005 つくばエクスプレス開通 	<ul style="list-style-type: none"> ●2016 二天門防災船着場の一般開放 ●2018 台東区タウンサイクル事業実証実験開始 		<ul style="list-style-type: none"> ●2028 浅草寺創建1400周年 ●2031 隅田公園開園100周年

現在

1-5. 新ビジョンの策定及び委員会・部会の設置

資料1：浅草地区の状況

■新ビジョンの策定及びビジョン策定委員会・部会の設置

○浅草を取り巻く社会状況の変化を踏まえた新しいまちづくりビジョンを策定・共有

○今年度より皆様方と今後の浅草のあり方を議論

○本日は、以下について情報共有及び意見聴取
・浅草地区のまちの課題とまちづくりの視点について
・今後の検討の進め方について

